

信濃美術館の整備にかかる 「第4回県民フォーラム」概要（伊那会場）

県民文化部文化政策課
信濃美術館整備室

日時：平成30年12月16日（日曜日）午後1時30分から午後3時30分

場所：伊那市生涯学習センター 701・702 会議室

参加者：37名

概要

主な意見等

- よく考えられた美術館の設計である。
- 安曇野高橋節郎記念美術館の建物はとても素晴らしい。安曇野高橋節郎記念美術館と同じ設計者が新しい信濃美術館を設計するのでとても期待している。
- 東山魁夷館が開館した時に訪れて、エントランスから館内に入った瞬間感動した。計画では本館と東山魁夷館がブリッジで接続されるが、東山魁夷館のエントランス、動線をないがしろにしない計画・運営をお願いしたい。
- 県民ギャラリーの利用者として、未長く綺麗な状態が続くように使いたい。国立新美術館では作品と壁の間に養生シートを貼って展示している。しかし、養生シートを貼るのは時間と手間がかかり、展示が終わった後はごみになってしまう。ホームセンター等で売っている樹脂製のパネルを備品として用意してほしい。
- 県民ギャラリーの移動壁は、50号サイズの絵画が縦に2段展示できる高さがよい。
- 県民ギャラリー、多目的ルーム、ホワイエを使って展示する場合、鑑賞環境として展示壁と展示壁の間隔が5mあるとよい。5mの間隔を確保したことにより展示壁面が足りなくなった場合、交流スペースも展示に利用できるように柔軟な運用をお願いしたい。
- 県民ギャラリーに工芸作品や彫刻作品を展示する場合、展示台が必要である。開館までに備品として準備してほしい。
- 県民ギャラリーの使用料は、全県的な展覧会に利用する場合、松本市美術館の使用料より高くないように使い勝手がよい料金設定を検討してほしい。
- 国立新美術館は受付職員やガードマンの対応がとても丁寧で気持ちが良い。信濃美術館もそのような美術館であってほしい。

（以上）